

令和8年8月26日

県土整備部道路課

初の「完全交通規制」で未来の奥入瀬を体感 ～9月13日（日）に記念オープニングセレモニーを開催～

奥入瀬溪流では、「青楓山バイパス」の完成後、溪流沿いの国道102号区間で全面的な交通規制が予定されています。これにより、上質な自然が織りなす無数の「作品群」をじっくり鑑賞できる、人中心の静かな「天然の自然博物館」として生まれ変わります。

この将来の姿を見据えた社会実験として、期間限定の「奥入瀬自然博物館」（マイカー交通規制）を今年も開催します。今年は9月13日（日）に、マイカーに加えて大型車等も規制する「完全交通規制」を初めて実施し、将来目指している“未来の奥入瀬”を1日限定で体感していただきます。

初の「完全交通規制」を記念し、同日にオープニングセレモニーを開催します。奥入瀬溪流の新たなステージの幕開けとなるこの機会に、ぜひ取材・報道くださいますようお願いいたします。

記

1. オープニングセレモニー

日時：令和8年9月13日（日） 午前8時50分から9時20分

場所：奥入瀬溪流温泉スキー場前駐車場（P1）

【取材にあたってのお願い】取材時はセレモニー会場にお集まりください。駐車場も利用可能です。

2. 奥入瀬自然博物館（マイカー交通規制）の概要

全体期間：令和8年9月7日（月）～13日（日） 【13日（日）は完全交通規制】

規制区間：国道102号奥入瀬溪流区間（惣辺交差点～子ノ口交差点）

【取材にあたってのお願い】規制区間内での取材はシャトルバスをご利用ください。取材の為のシャトルバスチケットは「スキー場前駐車場」・「休屋」の窓口でお渡しします。駐車場は「スキー場前」または「休屋」をご利用ください。

3. 内容

別紙または公式ホームページ（<https://www.eco-oirase.com>）をご参照ください。

※天候状況により中止となる場合があるため、公式ホームページで最新情報をご確認ください。



奥入瀬溪流エコツーリズム
プロジェクトHP

報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部道路課
担当者	整備推進GM 工藤 一彦
電話番号	直通：017-734-9651 内線：6830
報道監	県土整備部次長 鈴木 英宗

9月13日(日)完全交通規制セレモニー 概要・趣旨

県土整備部 道路課

奥入瀬自然博物館 完全交通規制Day

日時 令和8年9月13日(日) 8:50～9:20

場所 奥入瀬溪流温泉スキー場前駐車場(P1)

○趣旨

奥入瀬の未来の姿を体感できる特別な一日と、高付加価値化したツアーのスタートを記念し、オープニングセレモニーを開催。これらを通じて完全交通規制を単なる「交通制限」ではなく、豊かな自然環境の魅力をより深く体験できる取組として発信し、来訪者や地域、関係者の理解を深めるとともに、将来的な完全交通規制の実現に向けた機運の醸成を図る。

○プログラム進行

郷土芸能
(十和田囃子)

主催者※挨拶
(9:00規制開始
カウントダウン)

関係者挨拶

ゲスト挨拶
(インフルエンサー
そらたび 氏)

テープカット

※奥入瀬十和田利活用協議会会長:青森県知事



9月13日(日)完全交通規制セレモニー 展示・体験

県土整備部 道路課

未来の姿を体感する次世代モビリティ

トヨタ e-Palette(イーパレット)



人々の移動手段にとどまらず、移動する店舗やサービス空間など、さまざまなモビリティサービスに活用できるトヨタ自動車のバッテリーEV。広い室内空間と大型ウインドウガラスによる開放感を活かし、自然景観を楽しむ移動空間としても、さまざまな用途に活用できることが特長。

WHILL(ウィル)



WHILL株式会社が開発・販売する、免許不要で歩行領域を走行する近距離モビリティ。道路交通法上は歩行者扱いとなるため、歩道を走行することが可能。

セレモニー会場での展示・体験(試乗)を通じ、これら次世代モビリティが共存する「未来の奥入瀬の姿」を参加者に体感していただく

立ちどまるから見える

奥入瀬溪流

Oirase Gorge

期間限定
交通規制

2026

09

07

MON



13

SUN

立ち止まるから、



Step inside nature's art gallery,
where the forest and stream are the masterpieces.

見えてくる

奥入瀬自然博物館

国道・遊歩道が神秘の回廊

Oirase
Open-Air
Museum
of Natural History



奥入瀬自然博物館を
体験できる動画は
こちらから ———>



主催：奥入瀬十和田利活用協議会、奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会

世界に誇る 「奥入瀬自然博物館」

～Oirase Open-Air Museum of Natural History～ を目指して

近い将来、奥入瀬（青楓山）バイパスが完成することで
奥入瀬渓流区間の渋滞を解消し、自然環境保全はもちろん、
貴重な動植物をゆっくりと立ち止まって観察できる
「車のいない奥入瀬」が日常となります。

奥入瀬渓流は「日本の貴重なコケの森」として選ばれた
神秘的で壮大な「苔庭」。貴重な苔などの植物や菌類、
ミクロレベルの生物までもが、自然のまま野外に生息している
まさに世界に誇る、世界で唯一の自然博物館
～Open-Air Museum of Natural History～です。

ぜひ、未来の奥入瀬渓流を一早く、
体感してみませんか？

9月13日（日）

**大型車・特定中型車・
タクシーも規制対象**

となりますのでご注意ください。

同時開催

エコロードフェスタ

奥入瀬・十和田のこれまでとこれからをより
体感できるように、各会場にて様々なイベン
トやツアー、実験を行っています。

詳細は奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクトHPから▶

9/7月
-9/13日



9/13日
大型車・特定中型車は
広域迂回が必要です。

〔建設中〕
奥入瀬（青楓山）バイパス

広域迂回
（大型車・特定中型車）

一般国道102号七曲区間
**大型車・特定中型車
通行規制区間**

Lake Towada

エコロード
フェスタ会場

JRバス
十和田湖駅

Yasumiya Area



奥入瀬バイパス
迂回路
シャトルバス
運行区間
シャトルバス
チケット売り場
シャトルバス
乗車可能場所
トイレ

期間限定
「奥入瀬自然博物館」区間
9/7日 - 13日
※この期間は、一般車両は走行できません。



期間限定シャトルバス



写真は過年度の様子です

奥入瀬に、キッチンカーが来る！



期間限定トイレカー



期間限定

「奥入瀬自然博物館」

～Oirase Open-Air Museum of Natural History～

9/7日 - 11日 10:00 - 16:00

9/12日・13日 9:00 - 16:00

この期間、奥入瀬渓流区間で一般車両は走行できません。
マイカーや観光バスなどお越しの際は、奥入瀬渓流温泉駐車場、
休屋駐車場（有料）に車を止め、シャトルバスをご利用下さい。

期間限定

シャトルバス運行時間

9/7日 - 11日 9:00 - 16:00
9/12日・13日 8:00 - 16:00

**1日乗り放題
バス**

購入は
奥入瀬渓流エコツーリズム
プロジェクトHPから

お問い合わせ

● イベント全般、観光案内について
（一社）十和田奥入瀬観光機構 Tel.0176-24-3006
（9:00～19:00）

● シャトルバス（チケット購入等）について
青森県 県土整備部 道路課 Tel.017-734-9651
（平日8:30～17:15）

十和田湖 奥入瀬渓流までの交通アクセス

新青森駅	JR 青森駅	JRバス東北みずうみ号 約2時間	約50分
		レンタカー 約1時間30分	約35分
八戸駅	JRバス東北（要予約）おいらせ号 約1時間30分	約50分	奥入瀬渓流（焼山地区）
	レンタカー 約1時間	約35分	
七戸十和田駅	十和田観光電鉄バス 約40分	約35分	
	十和田市中央	約35分	
青森空港		レンタカー 約1時間10分	約35分
三沢空港		レンタカー 約1時間10分	約35分
八戸西 IC		自家用車・レンタカー 約1時間	約35分
小坂 IC		自家用車・レンタカー 約40分	
十和田 IC		自家用車・レンタカー 約1時間10分	

十和田湖（休屋地区）